

【大阪の地域力の再生】

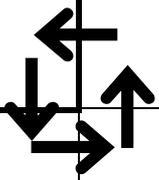
～ 小学校と連携した地域の力を育てます～

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p align="center">【 戦略課題の目標】</p> <p>学校支援等に際して、縦割りでなく、庁内が一体となった総合的・横断的な施策展開を行うことにより、地域力の再生を図る。</p>	<p align="center">【 アウトパムの数値目標】</p> <p>地域活動への参加の拡大により、地域力の再生の効果を測定したうえで、目標値を設定する。 <指標例> 地域活動に参加した府民の総数</p> <p>地域活動が以前より活発化していると思う府民の割合<アンケート></p>
<p align="center">【 施策推進上の目標】</p> <p>小学校区等地域との協働により実施されている府施策の把握及び地域活動の現状・ニーズの把握 (5～6月)</p> <p>府施策の有機的ネットワーク化及び府・市町村・地域の連携による地域活動への参加の促進策の検討 (7月)</p> <p>「地域力再生に向けた取組方針(案)」の策定・モデル事業の実施 (7月(素案)、9月(案)、モデル事業(10月～))</p> <p>地域における先進的な取組事例の紹介 (10月～)</p> <p>地域支援人材バンク(仮称)の試行実施(10月～)</p> <p>取組みの検証 (H22.1)</p> <p>[推進事業例(4月～)] 「小学校の運動場の芝生化推進事業」の推進(環境農林水産部・都市整備部・教育委員会) 地域と連携した総合治安対策の推進(政策企画部) ・地域安全センターの整備 ・少年補導センターの整備 全中学校区(291校区)で、学校支援地域本部を設置し、その活動拠点を整備(教育委員会) 〔平成20年度 234中学校区で設置〕 「3つの朝運動(朝食・あいさつ・読書)」に取り組み、全市町村参加フォーラムを開催(教育委員会)</p> <p>府民や企業と連携した多様な取組(都市整備部)</p>	<p align="center">【 アウトプットの数値目標】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>現状把握や取組方針を踏まえ、次年度以降、施策の具体的な方向に応じた業績目標を設定</p> </div> <p>・50校 参加した地域団体 100団体以上</p> <p>・モデル事業 14箇所 ・モデル事業 7箇所</p> <p>・平成22年度「全国学力・学習状況調査」において、「PTAや地域の人が学校の諸活動に対するボランティアとしてよく参加してくれると回答している学校の割合」が、小・中学校ともに4割を超える</p>

【 公立小学校 50 校で運動場の芝生化を実現！ 】

～ 子ども達が笑顔で走りまわることのできる運動場の芝生化を進めます～

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【 戦略課題の目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みどりの風を感じる大都市の実現 ・ 地域による都市緑化の促進 ・ 地域力の再生 	<p>【 アウトカムの数値目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動場の芝生化に参画した地域団体の数 100 団体以上
<p>【 施策推進上の目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校等を取り巻く地域団体への働きかけ 全市町村 <p>(私立小学校、中学校、幼稚園等への芝生化の働きかけ (みどりの基金事業) (H16～20 実績 17 校))</p>	<p>【 アウトプットの数値目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の運動場の芝生化 50 校



【総合的治安対策の推進】

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)																				
<p>【 戦略課題の目標 】</p> <p>【将来ビジョン・大阪：安全・安心ナンバー1大阪 ~街頭犯罪ゼロ、子ども被害ゼロ戦略~】</p> <p>安全・安心を実感できる大阪を目指し総合的な治安対策を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府庁内外及び関係機関とのネットワークの形成 ・地域防犯力の活性化 	<p>【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>府民の安心感の向上</p> <p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前より治安が良くなったと思う府民の割合の改善(リサーチパネルの活用) <p>〔《参考》府民意識調査結果(H18) ・治安が良いと思う府民の割合 11.0%〕</p>																				
<p>【 施策推進上の目標 】</p> <p>総合治安対策の司令塔機能の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内連携体制の構築 <p>地域安全センターの設置促進</p> <p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21年度モデル事業として市町村に地域安全センターを14箇所設置 <p>事業推進にあたっては、小学校の芝生化や学校支援地域本部事業など地域力再生の取組みと連携</p> <p>当面、土木事務所地域支援課と相互連携の下で事業展開を図る。</p> <p>少年補導センターの設置促進</p> <p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル市町村において少年補導センターを7箇所設置 ・少年育成活動員 仮称(ボランティア)養成(400人) <p>警察OB職員3名による指導・助言</p> <p>青少年健全育成団体との連携</p>	<p>【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>3年後(H23)に街頭犯罪認知件数ワースト1返上を目指す</p> <p>今後3年間の街頭犯罪認知件数の推移</p> <table border="1"> <caption>街頭犯罪認知件数の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>大阪 (件数)</th> <th>東京 (件数)</th> <th>目標値 (件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>104,262</td> <td>85,913</td> <td>104,262</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>~95,000</td> <td>~80,000</td> <td>~90,000</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>~85,000</td> <td>~75,000</td> <td>~80,000</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>~80,000</td> <td>~70,000</td> <td>~75,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔《参考》H20 街頭犯罪認知件数 ・大阪 104,262 件(1位) ・東京 85,913 件(2位)〕</p>	年度	大阪 (件数)	東京 (件数)	目標値 (件数)	H20	104,262	85,913	104,262	H21	~95,000	~80,000	~90,000	H22	~85,000	~75,000	~80,000	H23	~80,000	~70,000	~75,000
年度	大阪 (件数)	東京 (件数)	目標値 (件数)																		
H20	104,262	85,913	104,262																		
H21	~95,000	~80,000	~90,000																		
H22	~85,000	~75,000	~80,000																		
H23	~80,000	~70,000	~75,000																		

「地域安全センター」の概要

子どもの安全見まもり活動を中心として、小学校の余裕教室等を活用した地域の安全活動拠点(「地域安全センター」(小学校区ごと))を設置し、地域ぐるみの取り組みの強化や地域防犯ネットワークを構築し、子どもの安全や地域防犯活動を強化する。

「少年補導センター」の概要

非行には至らない初期的な不良行為を行う少年に地域ぐるみで対応するため、地域が一体となって少年補導活動を推進するためのネットワークづくりを行う。

【地域安全センターの設置促進】

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【 戦略課題の目標】</p> <p>【将来ビジョン・大阪：安全・安心ナンバー1大阪 ~街頭犯罪ゼロ、子ども被害ゼロ戦略~】</p> <p>犯罪防止ネットワークの構築及び 活性化の促進</p>	<p>【 アウトカムの数値目標】</p> <p>地域防犯活動をはじめとする地域 コミュニティ活動の活性化</p> <p>《指標・水準》例 ・子どもの安全見まもり活動などコミュニ ティ活動が盛んになったと感じる割 合の増加（見まもり隊等に対するアン ケート調査の実施）</p>
<p>【 施策推進上の目標】</p> <p>地域安全センターの設置促進</p> <p>小学校の余裕教室等を活用した地域の 安全ネットワークの拠点 事業推進にあたっては、小学校の芝生 化や学校支援地域本部事業など地域力 再生の取組みと連携 当面、土木事務所地域支援課と相互 連携の下で事業展開を図る。</p> <p>《目標》 ・H21 年度モデル事業として市町村に 地域安全センターを14箇所設置</p>	<p>【 アウトプットの数値目標】</p> <p>モデル設置地区内における</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの声かけ事案 ・街頭犯罪認知件数 <p>のさらなる減少</p>

「地域安全センター」の概要

子どもの安全見まもり活動を中心として、小学校の余裕教室等を活用した地域の安全活動拠点（「地域安全センター」（小学校区ごと））を設置し、地域ぐるみの取り組みの強化や地域防犯ネットワークを構築し、子どもの安全や地域防犯活動を強化する。

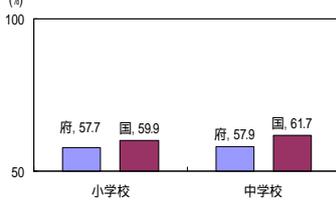
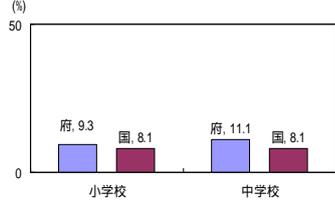
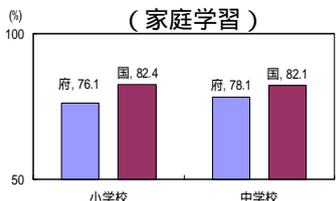
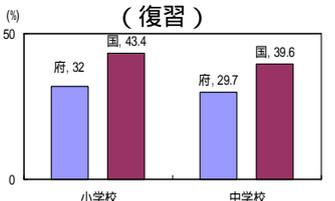
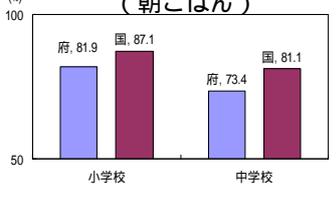
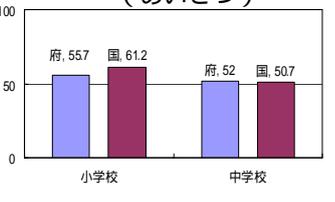
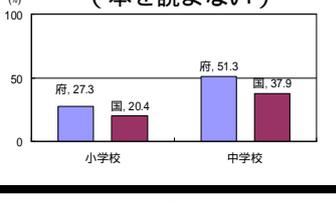
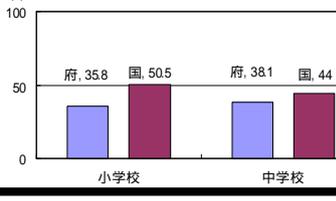
【少年補導センターの設置促進】

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【 戦略課題の目標 】</p> <p>【将来ビジョン・大阪：安全・安心ナンバー1大阪 ~街頭犯罪ゼロ、子ども被害ゼロ戦略~】</p> <p>少年の非行防止の推進</p>	<p>【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>少年非行に対する府民の意識</p> <p>《指標・水準》例 ・コンビニ前等でたむろしている少年やタバコを吸っている少年が減ったと実感する府民の割合（リサーチパネルの活用）</p>
<p>【 施策推進上の目標 】</p> <p>モデル市町村における少年補導センターの設置促進</p> <p>地域ボランティアである少年育成活動員 仮称 の協力を得ながら、市町村の少年補導活動を強化するネットワークを構築</p> <p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7箇所設置 <p>少年育成活動員 仮称 の養成研修の実施</p> <p>《目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少年育成活動員 仮称 （ボランティア）養成（400人） 警察OB職員3名による指導・助言 <p>〔 《参考》 少年育成活動員 仮称 447人（H21.4.1現在） 〕</p>	<p>【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>モデル市町村内の少年の検挙・補導人員の減少</p>

「少年補導センター」の概要
 非行には至らない初期的な不良行為を行う少年に地域ぐるみで対応するため、地域が一体となって少年補導活動を推進するためのネットワークづくりを行う。

【基礎・基本を徹底し、学校が地域・家庭と連携して、子どもたちの学力を最大限に伸ばします】

資料1 - 6
 <教育長>

遂行目標（プロセス）	業績目標（結果）
<p>【 戦略課題の目標 】</p> <p>(1) 一人ひとりの子どもたちに確かな学力をはぐくむための教育内容の充実</p> <p>(2) 学校・家庭・地域が一体となった「教育コミュニティ」づくりの一層の推進</p>	<p>【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>企画室と調整の上、目標設定 「義務教育における子どもの学力が向上した」と実感する府民の割合 地域の子どもと道で会ったとき、積極的に声をかける保護者の割合</p>
<p>【 施策推進上の目標 】</p> <p>(1) 一人ひとりの子どもたちに確かな学力をはぐくむための教育内容の充実</p> <p>基礎・基本を徹底します</p> <p>全小・中学校で、府作成の学力テストや単元テストなどの活用を促進し、確かな学力の定着を図ります。</p> <p>〔平成 20 年度 「学力テストの活用状況」 小学校：93.3% 中学校：92.1% 「単元別テストの活用状況」 小学校：40.1% 中学校：25.2%〕</p> <p>全小・中学校で、計算・漢字などの反復学習等に取組み、基礎・基本の定着を図ります。</p> <p>〔平成 20 年度 「反復学習の実施状況」 小学校：91% 中学校：73%〕</p> <p>規則正しい生活習慣や家庭学習習慣を身につけさせるとともに自ら学ぶ力をはぐくみます</p> <p>放課後学習室「おおさか・まなび舎」を拡充します。【小：300/528校、中：220/291校】</p> <p>〔平成 20 年度 小：140校、中：103校 平成 22 年度 全小・中学校で実施〕</p> <p>自学自習ワークブックを充実し、80%の小・中学校で活用をはかります。</p> <p>〔平成 20 年度 小・中学校の活用状況 50.3%〕</p>	<p>【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>平成 22 年度「全国学力・学習状況調査」において、下記の指標で全国平均をめざす。</p> <p>(グラフは、平成 20 年度「全国学力・学習状況調査」結果)</p> <p>正答率</p>  <p>無解答率</p>  <p>家庭で 30 分以上学習している割合 復習をする習慣がついている割合</p> <p>(家庭学習)</p>  <p>(復習)</p>  <p>毎日、朝ごはんを食べている子どもの割合 近所の人に会った時は、あいさつしている子どもの割合 1 日の中で、まったく本を読まない子どもの割合</p> <p>(朝ごはん)</p>  <p>(あいさつ)</p>  <p>(本を読まない)</p> 
<p>3つの朝運動（朝食・あいさつ・読書）に取り組み、全市町村参加のフォーラムを開催します。</p> <p>(2) 学校・家庭・地域が一体となった「教育コミュニティ」づくりの一層の推進</p> <p>全中学校区（291 校区）で、学校支援地域本部(注)を設置し、その活動拠点を整備します。</p> <p>〔平成 20 年度 234 中学校区で設置〕</p> <p>注：学校支援地域本部とは、地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、(教員と)子どもが向き合う時間の拡充を図ろうとするもの</p>	<p>平成 22 年度「全国学力・学習状況調査」において、「PTA や地域の人が学校の諸活動に対するボランティアとしてよく参加してくれる」と回答している学校の割合が、小・中学校ともに 4 割を超える。</p>  <p>(平成 20 年度「全国学力・学習状況調査」結果)</p>

【大阪の魅力づくり・地域の再生】

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【1.戦略課題の目標】 大阪の魅力づくり・地域の再生</p> <p>大阪ミュージアム オンリー1 新エネルギー都市 ナンバー1 みどりの風を感じる大都市 オンリー1 くらすなら大阪！分権先進都市 オンリー1 大阪ミュージアム構想の実現等により大阪の魅力 を高めるとともに、新たに土木事務所に設置した 「地域支援課」を核として、住民や企業が参加す る地域主義の確立を目指す。</p>	<p>【4.アウトカムの数値目標】</p> <p>大阪の魅力づくり・地域の再生が進んで いると実感</p>
<p>【2.施策推進上の目標】</p> <p>水の都「大阪」の再生に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶水都大阪 2009 に向けた水辺整備 <ul style="list-style-type: none"> ・八軒家浜賑わい施設の供用 ・水の回廊ライトアップの実施 ・堂島川賑わい創出区間の供用 <p style="text-align: right;">} H21.8 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶水の回廊につながる寝屋川流域の水質改善 <ul style="list-style-type: none"> ・下水道高度処理の推進(竜華、なわて水みらいセ ンターを H22 年度供用)、合流式下水道の改善 ・河川浄化事業の推進(浚渫、導水等) <p>「石畳と淡い街灯まちづくり支援事業」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21.6 月にモデル地区 3 地区選定 ・H21 年度中に H20 年度の選定地区と合わせて 5 地区で事業着手(事業期間 H20～H23) <p>「みどりの風を感じる大都市」の実現に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりづくりの推進方策等を取りまとめ、H22 年度以降のアクションプランを策定 <p>府民や企業と連携した多様な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶泉佐野丘陵での大規模緑地づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・公園づくりを主導するボランティアリーダーを 養成し、H22.3 月までに活動開始 (今年度 10 回の養成講座を開催) ・企業支援の確保 <p>▶公立小学校の運動場の芝生化支援</p> <p>▶企業の CSR(社会貢献)活動と連携した道路環境 づくり等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路施設等の維持管理、美化啓発活動、新技術を用 いた補修などへの協賛 	<p>【3.アウトプットの数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水都大阪 2009 への来訪者数 100 万人(52 日間) ・寝屋川流域の全基準点で環境基準を 達成(H23 年度) (H19)9/16 箇所 (H23)16/16 箇所 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> モデル地区 5 地区選定のうえ で、業績目標を設定 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> アクションプランに基づき、 次年度以降、業績目標を設定 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・30 名養成 (H21 年度、H22 年度で合計 60 名養成) ・2,000 万円相当の機材 (H20～H29 総額で 2 億円相当の支援) ・芝生化を実施する公立小学校の数 50 校 ・CSR 活動企業の数 15 社増 (H20 年度 49 社)